



令和8年度 第6号

学校周辺の道路散策（小学部3年生）



4月24日（金）の2・3時間目、小学部3年生が校外学習へ出かけました。今回の目的地は、学校周辺の道路です。「学校の周り」を社会科の

視点で観察する」「方位を意識する」という2つのねらいを掲げて実施しました。児童たちは、歩きながら鋭い視線で観察に取り組んでいました。大人が見過ぎてしまうような小さな発見も、子供たちの新鮮な目が見事に捉えてくれたようです。「探検ボード」の記録用紙にはどのような情報が記されているのか、レポートの完成が今から楽しみです。

クラブ体験（中学部）

4月24日（金）の7時間目、中学部ではクラブ活動の体験入部を実施しました。当日は「卓球」「バスケットボール」「テニス」「文化・芸術」の4つのクラブを用意し、生徒たちはそれぞれ希望の活動に参加しました。文化・芸術クラブでは、イラスト・ダンス・楽器の3グループに分かれて活動を楽しみました。テニスクラブでは、ネット張りに手間取り開始が遅れる一幕もありましたが、練習が始まると生徒たちの活気に満ちた姿が見られました。本入部まではまだ時間があります。さまざまなクラブを体験し、自分にぴったりの活動を見つけてほしいと願っています。



懇談会での質問について

ご多忙の折にも関わらず、先週の授業参観ならびに学級懇談会へ多数ご出席いただき、誠にありがとうございました。

さて、小学部の学級懇談会の中でご質問をいただいた「合同学習」および「学級編成」の背景につきまして、改めて詳しく説明いたします。

1. 今年度の体制整備の背景

本校では今年度、教員組織に大きな変更が生じました。主な要因は、文部科学省派遣教員の定員変更（1名減）に加え、現地採用講師の募集において、応募者の担当教科が派遣教員と重複したこと等により、最終的な採用に至らなかったことによります。

学校として、どのような状況下でも子どもたちの学びの質を維持・向上させるため、理事会とも協議を重ね、以下の通り体制を取ることにしました。

2. 具体的な対応と実施のねらい

小学部 6年生のクラス編成について

児童の発達段階、および今後の転出入の見通し、指導の効率性を総合的に判断し、今年度は1クラス編成としています。

合同学習の実施について

限られた教員数の中で、全校の授業時間を最大限に確保するため、一部の教科で合同学習を取り入れました。なお、授業時間確保の一助として、校長も直接授業を担当し、全教員で指導にあたっています。

3. 今後の指導方針：少人数と集団学習の「強み」の融合

これまでの「少人数授業」には、一人一人にきめ細かく寄り添えるという大きな利点がありました。その一方で、今回実施する「合同学習（30名程度）」にも、以下のような教育的メリットがあると考えております。

多様な価値観への接触：多くの意見・考えに触れることで、多角的な思考力や創造力が養える。

社会性の育成：適正な集団規模の中で、役割意識や協調性、コミュニケーション能力が養える。

私たちは、これまでの「個に応じた指導」のよさを維持しつつ、集団学習ならではの活気ある学びを取り入れ、日々の授業改善に努めていきます。

子どもたちが新しい環境の中で、安心してより豊かな学びを得られるよう、教職員一同、一丸となって取り組んでいきます。どうぞ本校の方針にご理解とご協力をいただけるよう、お願い申し上げます。

ホールに飾られた五月人形

先日、マロニエ会・図書文化委員の皆様が、ホールに「五月人形」を飾ってくださいました。図書文化委員の方々には、年末のクリスマスツリーや3月のひな人形など、季節ごとの設営や片付けをいつも担っていただいております。心より感謝申し上げます。お陰様で、補習校を含む本校の児童生徒は、折々に触れて日本の伝統文化を身近に感じることができています。五月人形は、5月5日の「端午の節句」に男の子の健やかな成長を願って飾る伝統的なものです。これには、①厄除けの「お守り」としての意味と、②成長への願いの二つが込められているそうです。

本校の五月人形は「武者人形」で、鎧飾りや兜飾りと並ぶ主要な種類の一つです。歴史上の英雄をモデルにすることが多い武者人形ですが、本校のものはふっくらとした顔立ちから、おそらく「金太郎」がモデルではないかと思われます。ご来校の際は、ぜひ間近でご覧ください。

